

# SNSを活用した情報発信による関係人口の創出に向けた取組

関係人口の創出に向けて、SNS等を活用した情報発信により、東大阪市が行う農業振興施策と連携して、都市農業の活性化に寄与する伴走支援に取り組む。

## ○ 施策分類

都市農業

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

都市近郊型農業が中心となる大阪府拠点では、農業関係人口の減少や将来における食料安全保障の観点から、都市と農村の交流による農村関係人口の創出を課題と捉えた。

このため、多くの方々に対して、食と環境を支える農林水産業の魅力を発信するとともに、食料の持続的な供給に寄与する「行動変容」につながるよう、地方自治体と連携した取組を行った。

## ○ 取組の内容

スポーツのまちで知られる東大阪市が行う「東大阪“エコたま”チャレンジ」（消費者等参加型農業体験）に協働し、BUZZMAFFや拠点広報誌で、農業への理解醸成に繋がるよう、情報発信を行った。また、動画の作成にあたっては、東大阪市の意見も取り入れながら、動画の構成、見せ方、取材視点を拠点が企画・提案し、ストーリー性のある内容とした。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

- ・消費者やプロスポーツ選手、学生などが参加できる農業体験イベントとして、多くの方々が交流できる場を創出。
- ・SNSを見た大学から東大阪市に対し、たまねぎ栽培にかかる作業に協力したい旨の連絡があるなど反響は上々。
- ・引き続き、連携しながら、収穫作業などSNS等を活用して発信し、消費者の理解醸成や農村関係人口の創出につながる支援を行う。



SNS (BUZZMAFF) での発信動画

